

葛飾区行政評価委員会の評価結果案

(第一分科会)

葛飾区行政評価委員会の評価結果

評価対象事務事業名	消費生活モニター	所管課	地域振興部 産業経済課
-----------	----------	-----	----------------

1 葛飾区行政評価委員会の提言

項目		提言内容
実績状況	成果	<p>【成果指標について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の成果を適切に測定するため、「研修会等参加延人数」は、研修会や講座等の内容ごとに実績を分けて把握し、分析・評価を行う必要がある。
	コスト	<p>【単位あたりコストについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定費が大半を占めており、モニターの登録人数の増加に伴いコストが大きく増加するわけではないので、費用対効果を上げるために、モニターの登録人数を一定程度確保するよう努めるべきである。
今後の方向性		<p>【育成の重要性について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賢い消費者を育成することは非常に重要であり、区として積極的に取り組んでいくべきである。ただし、事務事業の開始から社会経済状況は大きく変化しており、販売形態の変化等の現状に合わせた見直しを行うべきである。 <p>【新たな年齢層の取り込みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの取組を未来に引き継ぎ、継続して活動に取り組んでいくために、男性女性ともに新たな年齢層を取り込む必要がある。 ・賢い消費者を育成するために、消費者教育は幼少期から行う必要がある。そのためにも、子育てを行っている年齢層に参加していただけるように取り組むことが必要である。 <p>【実施方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進的な取組を行っている自治体との意見交換や情報共有等を行う必要がある。 ・今後謝礼を廃止した場合にも、モニターが活動を継続できるよう、活動の必要経費については区が支援することを検討してもよいと考える。 ・アンケート調査結果のより効果的な活用方法を検討する必要がある。 ・人材育成の側面を考慮し、アンケート調査等の依頼だけでなく、モニターとの連絡を密にとり、区から積極的に情報提供を行う必要がある。

2 所管部評価の妥当性

項目		点数	妥当性の概観
実績状況 5点:十分な分析 ができている 3点:普通 1点:分析が不 十分である	成果	3	
	コスト	3	
今後の方向性 5点:妥当である 3点:普通 1点:妥当でない		4	
記載のわかりやす さ 5点:わかりやすい 3点:普通 1点:わかりにくい		3	

葛飾区行政評価委員会の評価結果

評価対象事務事業名	広聴会(自治町会長連絡会・区民と区長との意見交換会実施事務)	所管課	政策経営部 広報課
-----------	--------------------------------	-----	--------------

1 葛飾区行政評価委員会の提言

項目		提言内容
実績状況	成果	<p>【成果指標について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50%程度という自治町会長連絡会の低出席率を改善するための工夫が必要である。 ・出席者の人数だけでなく、内容的に成果があったかどうか、質の評価もすべきである。 ・意見交換の結果、区政に反映された意見等については、成果としてPRすべきである。
	コスト	<p>【コストについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・23年度における筆耕翻訳料の増加は要約筆記等を充実させたものであり、コストについてはおおむね適正といえるが、今後も事務事業の内容を充実させる際には、費用対効果について十分に検討する必要がある。
今後の方向性		<p>【広聴の重要性について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治町会長が一堂に会す「自治町会長連絡会」及び区民が区長に直接意見を言える「区民と区長との意見交換会」の実施は、区政にとって非常に有益であり、今後も様々な機会や手段を用いて多くの区民の意見を聴く必要がある。 <p>【自治町会長連絡会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治町会長に参加する意義を感じてもらい、出席率が改善されるように、内容の充実を図る必要がある。 ・自治町会長からの質問に回答するだけでなく、区から情報発信を行い、それを地域へ広めてもらえるような内容とすべきである。 ・自治町会長の出席率が改善されるように、案内方法等の工夫を行うべきである。 <p>【区民と区長との意見交換会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なことを直接顔を見て区長に言える機会は少なく、若い人に地域に関心を持ってもらうためにも、こうした機会を増やす等の検討をすべきである。 ・会場や人数は小規模でも、「フェイス トウ フェイス」で話し合えるミニタウンミーティングの開催の検討も必要である。

2 所管部評価の妥当性

項目		点数	妥当性の概観
実績状況 5点:十分な分析ができている 3点:普通 1点:分析が不十分である	成果	3	
	コスト	3	
今後の方向性 5点:妥当である 3点:普通 1点:妥当でない		4	
記載のわかりやすさ 5点:わかりやすい 3点:普通 1点:わかりにくい		3	

葛飾区行政評価委員会の評価結果

評価対象事務事業名	広報かつしか発行	所管課	政策経営部 広報課
-----------	----------	-----	--------------

1 葛飾区行政評価委員会の提言

項目		提言内容
実績状況	成果	<p>【活動指標について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広報かつしか」は区民と区をつなぐものであり、「発行部数（号平均）」が増加していることは評価する。
	コスト	<p>【コストについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員と委託業者の役割分担について見直す等、引き続きコストを増加させない取組が必要である。
今後の方向性		<p>【広報紙の重要性について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子機器を利用しない区民のことも考えると、多くの媒体が存在する現在においても、「広報かつしか」は非常に重要な媒体である。 <p>【紙面の見やすさについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の中には自分たちに関係のある記事がどこに掲載されているかわからないと感じている人も多い。記事の内容によって色を使い分けたり、文字の大きさ等のレイアウトを見直すことで、必要な情報がどこにあるのか、一目でわかるような紙面づくりが必要である。 <p>【紙面の内容について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は記事のほとんどが区からの情報であるが、区民の表情や活動が見える紙面とするための取組が必要である。 ・月に3回発行される「広報かつしか」は、区ホームページ等の媒体と比べると情報が遅れることもあるが、紙面の内容の工夫等により、他の媒体との差別化を図る必要がある。 ・質の高い紙面を実現するためには、企画力、編集力、文章力等、高度なスキルが必要であり、職員の育成が重要である。 ・例えばあるテーマに基づいて、区職員は進行管理や企画立案等を行い、その他の情報収集や取材等については、「区民レポーター」のような形式で区民に協力を依頼するなど、区民と協働した紙面の作成を検討してもよいと考える。

2 所管部評価の妥当性

項目		点数	妥当性の概観
実績状況 5点:十分な分析ができている 3点:普通 1点:分析が不十分である	成果	4	<p>実績状況(成果)</p> <p>5 4 3 2 1 0</p> <p>記載の わかりやすさ</p> <p>実績状況(コスト)</p> <p>今後の方向性</p>
	コスト	3	
今後の方向性 5点:妥当である 3点:普通 1点:妥当でない		4	
記載のわかりやすさ 5点:わかりやすい 3点:普通 1点:わかりにくい		4	

葛飾区行政評価委員会の評価結果

評価対象事務事業名	不法投棄防止対策	所管課	環境部 リサイクル清掃課
-----------	----------	-----	-----------------

1 葛飾区行政評価委員会の提言

項目		提言内容
実績状況	成果	<p>【成果指標について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「不法投棄物の年間処理個数」の実績値が年々増加しており、早急な対策が必要である。 <p>【活動指標について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夜間パトロールの1回あたり巡回地点」について、目標値を毎年度達成していることは評価できる。
	コスト	<p>【コストについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々、直接事業費や単位あたりコストが下がっていることは評価できる。 ・防止対策の成果を上げる努力により、不法投棄物の処理費を減少させるべきである。
今後の方向性		<p>【不法投棄を防止する取組について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区と地域が協力して不法投棄させない環境を作っていくべきである。 ・不法投棄防止協力員や町会等がより高いモチベーションを持って不法投棄防止に取り組めるような工夫が必要である。 ・最も多く不法投棄される場所であるごみ集積所については、地域によって不法投棄させない環境を作ることが有効な対応策と考えられるので、地域美化や地域連携の重要性について広く区民に呼び掛けていく必要がある。 ・監視カメラ設置の検討にあたっては、頻繁に投棄される道路や公園へ重点的に設置し、効率的に運用する必要がある。 ・不法投棄の夜間パトロールについては、防犯パトロールと連携するなどの工夫をすることが必要である。 <p>【適正な廃棄を促す取組について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄を防止するためには、家電製品の購入時の価格に処理料金が含まれていることが望ましく、継続して国等に要望を行っていく必要がある。 ・無料で家電製品等を引き取る業者と区民とのトラブルについて、区民に周知するなどの対策をとり、適正な廃棄を促すべきである。 ・粗大ごみを自分で廃棄することが難しい一人暮らしの高齢者等が適正に廃棄できるように、今後もきめ細かく支援を行う必要がある。

2 所管部評価の妥当性

項目		点数	妥当性の概観
実績状況 5点:十分な分析ができている 3点:普通 1点:分析が不十分である	成果	3	
	コスト	4	
今後の方向性 5点:妥当である 3点:普通 1点:妥当でない		4	
記載のわかりやすさ 5点:わかりやすい 3点:普通 1点:わかりにくい		3	

葛飾区行政評価委員会の評価結果

評価対象事務事業名	総合防災訓練	所管課	地域振興部 防災課
-----------	--------	-----	--------------

1 葛飾区行政評価委員会の提言

項目		提言内容
実績状況	成果	<p>【実施方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度ごとに地区を変えて開催する実施方法は評価できる。
	コスト	<p>【コストについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスト低減の取組は重要ではあるが、コストをかけてでもより実践的で実効性のある訓練とする必要がある。
今後の方向性		<p>【発災時を想定した実践的な訓練について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都が発表した首都直下地震等による被害想定に合わせ、総合防災訓練を見直す必要がある。 ・複合災害も視野に入れて、それぞれの災害に合わせた対策を明確に示し、訓練に活かしていくべきである。 ・年度ごとに重点的に実施するテーマや想定する災害の内容を変えたり、町会による無線操作訓練や高層住宅を想定した避難訓練等の実践的な訓練を実施するなど、訓練の内容を工夫すべきである。 ・災害時においても、防災無線や総合庁舎等の機能を発揮できるよう、総合防災訓練を通じて検証を重ねるべきである。 ・訓練の実施結果を関係機関の間で共有し、次年度の訓練に活用していくべきである。 <p>【地域・関係機関との連携について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発災時には、学生等の若い世代の力が不可欠であり、学校等と連携して訓練に取り組む必要がある。 ・災害時に協力していただける、建築・医療・介護等、各分野の方を地域の中で把握する制度を構築するとともに、そうした方と連携して訓練に取り組む必要がある。 ・医療やボランティア等の各分野をコーディネートできる人材を地域に育成するとともに、連携して訓練に取り組む必要がある。 <p>【区民意識の啓発について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練はもとより、防災に対する区民の意識を高めるため、様々な機会をとらえて啓発を行う必要がある。

2 所管部評価の妥当性

項目		点数	妥当性の概観
実績状況 5点:十分な分析ができている 3点:普通 1点:分析が不十分である	成果	3	
	コスト	4	
今後の方向性 5点:妥当である 3点:普通 1点:妥当でない		4	
記載のわかりやすさ 5点:わかりやすい 3点:普通 1点:わかりにくい		3	

葛飾区行政評価委員会の評価結果

評価対象事務事業名	社会参加セミナー	所管課	福祉部 高齢者支援課
-----------	----------	-----	---------------

1 葛飾区行政評価委員会の提言

項目		提言内容
実績状況	成果	<p>【実施方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者が達成感を持って意欲的に取り組むためには、「講座によっては、座学だけでなく、発表会や体験活動等の実践も行う」という実施方法は評価できる。 <p>【成果について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加セミナーを契機として、活動を継続しているグループや町会活動を開始した人がいることはPRすべき成果であるが、成果指標「社会参加活動参加者率」については、実績値を増加させる努力が必要である。
	コスト	<p>【コストについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位あたりコストで見ると依然として高いものの、23年度に人件費が大幅に削減され、直接事業費も必要な経費であり、コスト低減に対する取組については評価できる。
今後の方向性		<p>【類似の講座等との役割分担と連携について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加の契機となるという本事務事業の役割は事業開始から10年経過した現在においても重要であるが、シニア活動支援センターやボランティアセンター、民間のカルチャースクール等で実施している類似の講座等との役割分担を改めて明確にした上で、それらと連携を取っていくべきである。 <p>【セミナーの実施方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講生には、それぞれの意向に沿った内容のセミナーを受講していただくことが望ましいため、類似の講座等を実施するシニア活動支援センター等との連携を強化することが必要である。 <p>【支援の方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの運営は自主的に行うべきであるが、運営に関するノウハウが蓄積するまでの期間は区が支援を行う必要がある。 ・講師の選定方法や他のグループの活動状況等、個人では持ち得ないノウハウや情報の面から支援を行うべきである。

2 所管部評価の妥当性

項目		点数	妥当性の概観
実績状況 5点:十分な分析 ができている 3点:普通 1点:分析が不十分である	成果	3	<p>実績状況(成果)</p> <p>5 4 3 2 1 0</p> <p>記載の わかりやすさ</p> <p>実績状況(コスト)</p> <p>今後の方向性</p>
	コスト	4	
今後の方向性 5点:妥当である 3点:普通 1点:妥当でない		4	
記載のわかりやすさ 5点:わかりやすい 3点:普通 1点:わかりにくい		3	